



Newsletter

vol.7

- シェルター「丘のいえ」だより④
- トークイベント「君たちはどんな法曹になるのか」レポート
- 黄色いレシートキャンペーン贈呈式



パオの
現いま

シェルター「丘のいえ」だより④

大っ嫌い！！

「大っ嫌い！！」

震えそうなほど体から沸き上がる怒りと辛さを抑えながら、彼女は私にそういいました。

「丘のいえ」のスタッフになって約1カ月。新人スタッフである私が、何気なく発した言葉は、今まで大人に傷つけられてぼろぼろになった彼女の心に突き刺さったのでした。その瞬間、彼女の中で、自分を傷つけてきた大人たちと、私がかぶったのでしょうか。やっぱりどんな大人も信じられない。きつと彼女はそう思ったことでしょう。

私は、泣きながら「丘のいえ」を飛び出していく彼女を追いかけてきました。「傷つけてごめんね。でも何があっても私はあなたを見捨てたりしない。ここは今まであなたが傷つけられてきた場所とは違うよ。ここにいる大人は、今まであなたを傷つけてきた大人とは違うんだよ。」そんなメッセージを、態度とほんの少しの言葉で伝えながら、私は彼女と一緒に歩き続けました。どのくらい歩いたでしょう、そんな空気を破り、明るく話しかけてきたのは彼女の方からでした。

「ねえ、休憩したら、一緒に買い物に行こう。」

辛いことがあると、部屋に閉じこもり、自分を傷つけることでしか気持ちを表現できなかった彼女が、少しずつ変わり始めていました。

思い返せば、近づいてきた距離が離れ、近づいてはまた離れ・・・を繰り返す彼女との生活。へこんでいる私に「失敗は悪いことではない。失敗は新しい何かを生む。大切なのはそれを次に繋げていくこと。」と、私たちスタッフの相談にのってくれる支援スタッフが教えてくれたことを思い出しました。

私たちはこれからも少しずつ成長していく彼女を支援し、彼

女と共に成長していこうと思います。

「丘のいえ」のスタッフになって1カ月、右も左もわからない新人ですが、そんな私たちに弁護士や支援スタッフの方々「ごくろうさま。」「ありがとう。」「よろしくお願いします。」と声をかけてくださいます。

子どもたちの壮絶な話を聞いても、共に泣いて話を聞くことしかできない無力な私たちですが、支援スタッフの言葉で「これで大丈夫なんだ。」「もっと頑張れる！」と自分を認めたり奮い立たせることが出来ます。

また、「丘のいえ」のスタッフミーティングには、新人の私たちでも思いをストレートに発言できる雰囲気があります。そういった場面では、私たちもスタッフの一員であることを実感し少しでも子どもたちの力になれることをうれしく思います。

このようなあたたかい雰囲気のもとで、子どもたちだけでなくスタッフも支えられ、成長しながら、毎日の生活を送っています。

こんな素敵な「丘のいえ」のスタッフでいられることを、私たちは誇りに思います。これも、パオを応援してくださっている皆様のご支援があってこそです。今後とも、ご支援をよろしくお願い申し上げます。（「丘のいえ」スタッフT）

